

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

本発明では、アプリケーションの複雑化を防止して開発労力を軽減させ、正常な処理を保証する。本発明において、処理要素定義ユニットは、シーケンシャルに複数の処理要素を利用する処理の識別情報毎に、利用される処理要素の識別情報と実行順序を記憶する。復元処理要素定義ユニットは、処理要素の識別情報毎に、異常が発生した場合に実行すべき復元処理要素の識別情報を記憶する。実行ユニットは、処理要素利用要求に基づいて、処理要素定義ユニットを参照し、次に処理すべき処理要素を実行する。復元実行ユニットは、処理要素の実行において異常が発生した場合に、この異常の発生した処理要素の識別情報に基づいて復元処理要素定義ユニットを参照し、この異常に対応する復元処理要素を実行する。